



さくらぐみ



《 クリスマスに向けて… 》

クリスマス会が近づき、子ども達は降誕劇の歌を歌ったり、クリスマスの飾りを作り、クリスマスを心待ちにしていました。12月になりアドベントに入ったので、合同礼拝でロウソクが灯される様になると「あ！火がついたよ。なんで？」という子どももいれば、「ロウソクがだんだん増えていくんだよね！」と昨年の事を覚えていて話す子もいました。「ロウソクが4本になったら？」と聞くと「クリスマス！」とすぐに答え、皆楽しみにしているのが伝わってきました。



クリスマス会の降誕劇ではさくら組は聖歌隊で参加しました。歌う曲も多く、皆の前で話すセリフもあり、少し緊張した顔も見せながら、一生懸命頑張っていました。劇を作り上げていく上で大切なこととして、ひな段に座る時は足を閉じ、歌が終わってもひまわり組が演じている間は、静かに座っている等を話しました。



それでも、じっと座っていることは難しく、ついあくびが出てしまったり、劇に夢中になって見入ってしまったり、動きに合わせて足を動かしたり…といった様子もありましたが、胸を張ってしっかり歌っている姿やセリフを言う姿は、とても頼もしく感じられました。



《 戸外では… 》

**中あて、しよう
みんな、逃げて！**



年長組が遊んでいるのを見て、仲間に入れてもらい、ルールを覚え、自分達でも仲間を集めて、中当てにドッチボールとボールを使った遊びを楽しむようになりました。年長組の遊びは、魅力的で何でも真似をしたいさくら組です。



とても寒かった日に、戸外に出るなり、子ども達は「先生、何で白いの？雪じゃないよね?!」と真っ白になっている園庭を不思議そうな顔をして見ていました。白い園庭を見つめていたのは、ほんの一瞬。白くなっているベンチや落ち葉に近づき「小さい氷がついているよ」という声と共に、バケツやシャベルを取りに、我先にと走り出していました。「なんで氷があるの?」と言いながら、子ども達は大喜びで霜柱に触ったり、バケツに集めたりしていました。「これ、溶けたらどうなるの?」と聞く子どもがいたので、「じゃあ、お日様のあたるところに置いておいたら?」と話すとうん!と言って日なたに置いて何度も見ていました。しばらくして「わ！水になった!」とびっくりした顔で報告に来てくれました。年長組が、氷を作っている様子を見て『自分達もやってみたい』と思った様で、様々な形の容器を用意し、水や落ち葉、花びらを入れて、氷ができるのを待っています。年長組を見本にして、子ども達は、自然の中から興味のあるものを見つけて、試し、色々な発見をして楽しんでいます。

**ひまわりさんみたいに
氷作ってみる！**

